

チーム えがお

【学校教育目標：自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成】
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子



発行者：校長 岡田達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～



地域ボランティアさんのおかげです!



本校の教育活動は、たくさんの地域のみなさんに支えられています。子どもたちの通学を毎日見守ってくださる見守り隊のみなさんをはじめ、いも植えや米づくりなどの体験活動のお世話をしてくださる公民館や老人クラブのみなさん、朝読書の読み聞かせボランティアのみなさん、そしていろいろな教科や総合的な学習の時間のゲストティーチャーのみなさん、放課後学習やホリデーチャレンジ学習で教えていただく指導員のみなさんなどなど。



数え切れないほどのたくさんの地域ボランティアの方々のご協力(善意)の中で、子どもたちは育っています。本当にありがたいことだと心より感謝しております。

先日24日(火)、5年生の家庭科、ミシンの使い方を学ぶ学習では、4人のミシンボランティアさんにお世話になりました。班ごとに支援についていただき、ミシンの操作や糸調子など、安全に使えるように見守っていただきました。おかげで、子どもたちは担任の指導のもと下糸の巻き方や上糸のかけ方、そして練習布を使って直線縫いや返し縫い、糸始末の仕方などを練習することができました。次の家庭科では、ミシンを使ってエプロンを縫うことにチャレンジします。



「なかよし給食」 いつもと一味違うね!

毎年1月24日から30日までの1週間は、「全国学校給食週間」となっています。これは、学校給食の意義や役割等について児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の理解と関心を高め、学校給食の一層の充実発展を図ることを目的として、文部科学省が定めているものです。戦争により中断していた学校給食が、昭和21年12月24日に再開されたことを記念して始まり、冬休みの関係で現在の期間となりました。

学校給食の主な役割としては、①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る、②食事についての正しい理解を深め、健全な食生活を営むための判断力を培い、望ましい食習慣を養う、③食事のマナーを身につける、④食生活が食にかかわる多くの人々によって支えられていることを理解し、感謝の心をもつ、⑤伝統的な食文化を理解し、地域の食材や郷土食に親しむ、といったことが挙げられます。

そこで、本校でも1月23日(月)から27日(金)までを「校内学校給食週間」と位置付け、様々な取組を実施しました。その一つが、なかよし班で給食を食べる「なかよし給食」です。高学年の子どもたちが上手に準備を進め、いつもとは一味違う給食時間を楽しみました。



それでは、各学年の標語を紹介します。

なかよし：感しゃの気持ちで食べよう のこさず食べよう のぞみ：今日のきゅう食何だろう 楽しみだなあ

1年：おいしいきゅうしょくありがとう のこさずたべてげんきな体

2年：ありがとう のこさずたべよう おいしいな

4年：給食を感謝の気持ちで 残さずいただきます

3年：給食をのこさず食べたらびょう気なし いっぱい食べるぞありがとう

5年：自然のめぐみに感謝して もぐもぐいっぱいいただきます

6年：自然のめぐみや作ってくれた方々へ感謝して「命」をいただく

